

「意見書」

令和6年5月13日

情報通信審議会 情報通信技術分科会
技術戦略委員会 主査 殿

郵便番号 100-0004
東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル
一般社団法人 電子情報技術産業協会
専務理事 長尾 尚人
連絡担当者 経営企画本部政策渉外部 鈴木久期
電話番号：080-2392-1695
電子メールアドレス： hisaki-suzuki@jeita.or.jp

「Beyond 5Gに向けた情報通信技術戦略の在り方」報告書（案）についての意見募集』に関し、以下のとおり意見を提出します。宜しくお取り計らいの程お願い致します。

総論		
<p>当協会・(一社)電子情報技術産業協会は、Society 5.0の実現を目指している中、社会のデジタルトランスフォーメーション（DX）を加速させていく必要があると考え、当技術戦略部会では、これまで、主に科学技術・イノベーション基本計画をターゲットに電子情報技術政策の視点から業界意見を取り纏め、提言を公開、関係府省庁にも説明を実施して参りました。本報告書にては、戦略・行動計画の策定等に関して、政府の科学技術・イノベーション政策全体を踏まえ推進することに加え、社会実装を図る上では、関係府省庁が所管する制度について必要な対応を進める等、Beyond 5G の推進を政府全体の国家戦略の重要な構成要素と位置付け、政府一体で推進する必要がある旨、纏められており、賛同します。賛同を前提に、各章における個別の論点について、下記の通り意見や期待感を述べさせていただきます。</p>		
頁	該当箇所	意見
第1章 Beyond 5G を取り巻く状況		
P.5	1.1 検討の経緯 (2) 検討再開の経緯	<p>【修正】 IOWN Global Forumについて、「・・・2023年3月にはKDDIが参加するなど、オールジャパンとしての取組になりつつある。」という記載を「・・・2023年3月にはKDDIが参加している。」に修正されては如何でしょうか。</p> <p>理由： IOWN Global Forumは設立企業に米国企業も名を連ね、本フォーラム会員企業はグローバルから参加しており、また、日本の会員企業数も限られており、報告書読み手にて、オールジャパンとの表記は事実と反するとみられる方もいらっしゃるかもしれないため。</p>
P.12	1.2 政府全体の政策動向 <1.2.2 Beyond 5Gの研究開発に関する基金の運用状況等 (4) 革新的情報通信技術(Beyond 5G(6G))基金事業の実施>	<p>【追記】 本文中に図表6と7を参照する文がありません。 そのため、例えば以下のような文章を追加しては如何でしょうか？ 「2023年度も新規プロジェクトが採択され（図表6）、予算が執行されている（図表7）」</p>
P.17	1.3 国際的な動向 <1.3.1 各国・各地域における動向>	<p>【追記】 6G-ANNAの正式名称の記載がありません。 そのため、次のように正式名称を追記されては如何でしょうか。 6G-ANNA（6G-Access, Network of Networks, Automation & Simplification）</p>
P.26	1.5 Beyond 5Gに係る取組の進展等 <1.5.1 通信事業者による取組> (2) Beyond 5G に向けた通信事業者各社の取組	<p>【修正】 下から4行目にある「10者」は「10社」または「10組織」に修正されては如何でしょうか。</p> <p>【理由】 法人格であるため、者よりも社や組織の表現が妥当に感じたためです。</p>
P.27	1.5 Beyond 5Gに係る取組の進展等 <1.5.2 社会実装に向けた取組> (2)関係省庁における取組	<p>【修正】 「現に商用展開」は「現在、商用展開」に、「要すれば」は「必要であれば」とそれぞれ修正されては如何でしょうか。（オリジナル表記尊重の場合は修正不要です）</p> <p>【理由】 https://www.soumu.go.jp/main_content/000930407.pdfの資料の表現を正確に踏襲した文章として記載されておりますが、今回の資料全体としての読みやすさを考慮すると一般的な表現にした方が妥当に感じたためです。</p>

第2章 新たな戦略の基本的方向性		
p.36	2.2 新たに考慮すべき環境変化と課題等 <2.2.3 AIの爆発的普及>	【追記】 アプリケーションの高度化による生活様式・ビジネス様式の変化(たとえば移動が減ることによるエネルギー消費の削減など)によるカーボンニュートラルへの貢献も期待されるため、「さらにはデジタルツインやメタバースのような高度なアプリケーションの利用は、生活やビジネスの様式を変え、結果的にカーボンニュートラルへの貢献を促進することが想定される」といった文章を追記してはいかがでしょうか？
P.37-38	<2.2.4 環境変化等を踏まえたBeyond 5Gネットワークの全体像、及び図表21>	【賛同】 情報通信ネットワークがAI社会を支える基盤(Network for AIs)としての機能を果たすという認識を踏まえて、様々な分野で利用される多数のAI同士（エッジAIを含む）をBeyond 5Gで繋ぎ、自律的に協調させることで、AIの省電力化や更に複雑な社会的課題の解決に貢献するという、通信とAI共進化の方向性に、賛同します。さらにAI社会を支える基盤として、ネットワークとコンピューティングリソースの一体的運用は重要な要素であり、その点が全体像の中に位置付けられた点についても賛同します。当協会も、2020年3月提言*において、分散協調型デジタルプラットフォームの主要構成要素としてBeyond 5Gネットワークを位置付けております。 *注) https://home.jeita.or.jp/press_file/20200325115214_SECVUBRZWX.pdf
P.41-P.43	<2.3.3 オープン化の推進>	【期待】 インターネットの例を見るまでもなく、オープン化/Open RANは、オープンイノベーションによる多様な技術革新を促進し、複雑化/高度化する将来のサービスへの対応力強化だけでなく、Beyond 5Gにおける、日本の情報通信産業のゲームチェンジ、国際競争力強化にとっても極めて重要である。政府一体となった政策推進に大いに期待する。
P.43	2.3 新たな戦略において重視すべき視点 2.3.4 社会的要請に対する意識の強化 <①コスト効率性(Cost Effectiveness & Affordability)>	【修正】 ここで挙げられた視点が重要であることは賛同いたしますが、下記2点、修正されては如何でしょうか。 1)「～という事実もあることを考慮して、…」又は「～という当たり前の事実から目を背けず、開発を進める姿勢も重要である」という文章にしてはいかがでしょうか？ <理由> “「どれほど優れた技術・機能を実現したところで、高いものは買ってもらえない」、「顧客は機能とコストのバランスを考えて購入・投資行動を決定する」という当たり前の事実”は、事実の一つではありますが、コストは機能の要素のみに起因するのではなく、他要素も踏まえて企業戦略に基づいて決定されるものであるため。 2)「市場の状況等にも応じて適切な時間軸でのコスト効率性を持つ視点もあわせて重要である」という文章を追加してはいかがでしょうか？ <理由> 「Beyond 5G の早期かつ円滑な導入」は重要であります。一方で、市場拡大によってコスト効率性が成立するサービスも存在し、“早期かつ円滑な導入”という短期的な視点でコスト効率性を求めるべきと捉えられてしまい、かえって新しいインフラ整備やサービスの導入促進の阻害にもなりかねないと懸念いたします。そのため、このような、意図に沿わないメッセージとならないようにするため。 【意見】 コストの観点においては、このような時間軸も踏まえて早期のインフラ整備、サービス展開に係るインセンティブ付与などの一定の支援を含む制度設計も重要な事項と考えます。
P.44	2.3.4 社会的要請に対する意識の強化 <②環境負荷低減 (Green)>	【追記】 環境負荷低減の具体例として、「分散データ処理によるデータ通信量・消費電力量の削減に資するエッジデバイスの実装」を追加してはいかがでしょうか？
P.44	2.3.4 社会的要請に対する意識の強化 <③信頼性・強靭性 (Reliability & Resiliency)>	【追記】 下記の赤字下線部を追加しては如何でしょうか。 「また、直近2024年1月に発生した令和6年能登半島地震や類似の災害において、情報通信ネットワークが文字通り命を守るライフラインとして機能したことを踏まえ、Beyond5Gは、 <u>ダイナミック周波数共用技術やLPWA(低消費電力・広域)等の既存技術と組み合わせでの活用</u> 、NTN 等を含む重層的なネットワーク構成による冗長化やAI による障害からの迅速な復旧等、技術進展をフルに活用した強靭なネットワークとなることが期待される。 理由：災害時における信頼性・強靭性の観点から、追加しました。

第3章 具体的な取組の方向性		
P.40、 P.46、及 びP.59- P.60	<2.3.2 グローバルなエコシステムの形成・拡大> <3.1.2 官民の役割整理> <3.4.2 海外市場の開拓・獲得に向けた各種政策支援>	【賛同、期待】 情報通信産業の国際競争力強化には、「グローバル・ファースト」の視点こそが最重要であり、最初から世界市場を目指した取り組みを積極的に支援するという方向性に、強く賛同します。また、グローバルシェアの向上は、経済安全保障の確保にもつながり、極めて重要です。これらを実現するための具体的な政策の展開、海外展開の担い手となる民間事業者を重点的に支援するインセンティブ設計などのプログラムの具体的設計、継続的強化に大いに期待します。
P.47	3.1 各種取組を進めるに当たったの基本的な考え方 <3.1.3 総合的な取組（各種取組の有機的な連携）の必要性>	【修正】 「その際、研究開発成果については、各々の企業の事業戦略も踏まえつつ、できるものから早期に製品化・市場投入～」というような文章にはいかがでしょうか？ 理由： 早期の社会実装や、それを通じたフィードバックを得る姿勢の重要性について賛同いたします。一方で、民間企業は決して完成時期や2030年を待っているわけではなく、展開サービスに応じた信頼性等の要求事項への対応、社会への影響度などの様々な要素を踏まえた戦略に基づき製品化・市場投入時期を検討しているため
P.58	3.4 社会実装・海外展開に関する取組 3.4.1 インフラ整備とエコシステム拡大に向けた各種取組 <(1) 現状>	【追記】 Beyond5G推進戦略(p.19)では、「Beyond5G ready」な環境は「あらゆる者が必要なリテラシーを備え、Society 5.0の恩恵を十分に享受できる環境。」と記載されています。一般利用者も含めたリテラシーの醸成はBeyond5G推進の観点で大変重要と考えますので、本報告書でも「Beyond 5G ready」の環境がどういったものを指すか、記載することが必要と考えます。以下のように下線部を追記してはいかがでしょうか。 「Beyond 5G推進戦略において、あらゆる者が必要なリテラシーを備え、Society 5.0の恩恵を十分に享受できる『Beyond 5G ready』な環境を支える5G・光ファイバ網の社会全体への展開を進めるとされていたところ、～」
P.58	3.4 社会実装・海外展開に関する取組 3.4.1 インフラ整備とエコシステム拡大に向けた各種取組 <(2) 今後の方向性>	【追記】 「潜在的なユーザの発掘は記載にあるように重要と考えます。一方で、XGモバイル推進フォーラム、IOWN Global Forumなどの場に加え、関連する業界団体の活用も有効と考えますので、以下の下線部分を追加してはいかがでしょうか？」 「民間事業者においては、2.3で述べた視点を強く意識しながら、2024年4月に発足したXGモバイル推進フォーラム（XGMF）やIOWN Global Forumをはじめとするフォーラム等の場や、 機器・デバイスベンダー及びユーザー企業が参加する業界団体等を活用しつつ 、潜在的なユーザを発掘し(後略)」
P.60	3.4 社会実装・海外展開に関する取組 3.4.3 国内の関連制度の整備 <(1) 現状>	【追記】 周波数に関する制度整備に加えて、Beyond5Gを使ったユースケースに関連する制度整備、規制緩和についても関係省庁がスピード感を持って対応いただき、実証だけでなく社会実装がスピーディーにできるように支援を期待しますので、「(2)今後の方向性」に以下の文章を追加してはいかがでしょうか？ 「Beyond5Gを使ったユースケースに関連する制度整備、規制緩和についても関係省庁がスピード感を持って対応し、実証・社会実装がスピーディーに進むようにすることが必要である。」
P.61	3.4 社会実装・海外展開に関する取組 3.4.3 国内の関連制度の整備 <(2) 今後の方向性>	【追記】 電波の有効利用に資する民間の取組の支援に期待いたします。特に持続可能な事業になるようにマネタイズやエコシステムの仕組みの構築に関する支援も必要と考えます。以下のような下線・赤字表記を追記してはいかがでしょうか？ 「また、 高周波数帯の開拓、マネタイズやエコシステムの仕組みの構築を含めた 、電波の有効利用に資する民間の取組を更に促進するための制度的対応について、継続的に検討するべきである。」
P.63	第4章 今後の取組 Beyond 5Gにおける国際競争力の強化及び経済安全保障の確保	【賛同】 Beyond 5Gの推進を政府全体の国家戦略の重要な構成要素と位置づけ、関連府省庁連携の下、政府一体で推進するとする基本的姿勢に大いに賛同します。